

医療で地域を支え半世紀

↑ トップに聞く

医療法人 鳳紀会理事長
可知病院院長
可知裕章氏



https://www.hospital-kachi.com
可知病院 豊川 検索



可知病院(豊川市国府町、可知裕章院長)が昨年2月、創立50周年の大きな節目を迎えた。昨今の新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、周年式典を延期していたが、来月20日にホテルアソシア豊橋にて関係者のみで行われる運びとなった。同院はリハビリテーションを中心に、病棟の歴史や現在の状況、今後の展開などを可知院長に聞いた。

ルーツは戦前 祖父が開業

市生まれで、愛知県立医療専門学校(現・名古屋大学医学部)を卒業し、医学博士の学位を取得した後、三河の地で医療を

「創立50周年おめでとうございます。開院からこれまでの歴史、ルーツを教えてください。」
可知 1970年、現太田から博士が来たことと評価された。患者さまへの気遣いも大切に、おのれに「可知外科診療所」としての歴史、ルーツを教えてください。その後は、岐阜県恵那が引き継ぎ、光生会可知



創設者、可知義兵太氏



1932年(昭和7年)3月、竣工当時の可知病院

「創立50周年おめでとうございます。開院からこれまでの歴史、ルーツを教えてください。」
可知 1970年、現太田から博士が来たことと評価された。患者さまへの気遣いも大切に、おのれに「可知外科診療所」としての歴史、ルーツを教えてください。その後は、岐阜県恵那が引き継ぎ、光生会可知

リハビリのニーズ高まる

「現在は、可知 大きな手術は市民病院などで行われるようになった。以前は手術をしても良い時代になり、リハビリのニーズが高まってきました。」

「私どものリハビリのスタートは2002年で、リハビリテーション科とリハビリテーション室を



リハビリ室の様子

「2012年に新病棟が完成しましたね。可知 そうですね。施設が完成したことで、エレベーターではなくなるほか、私どものグランドの外来リハビリテーション、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションで継続してリハビリができるよう尽力しています。」

「素晴らしい成果も出ていますね。可知 入院から退院までどれくらい日常生活動作が向上したかを見る指標(リハビリテーション実績指数)では、2019年の実績で50・4を達成しました。全国平均は37・6(2019年)です。効果的なリハビリが行われているとされる目安の40の数値を大きく上回っています。」

「電子カルテの導入も早かったですね。可知 電子カルテなどIT化も積極的に推進しました。当初はパソコンの操作に苦しみスタッフのモチベーションも下がりましたが、勉強会を定期的に行い、徐々にパソコンの使い方に慣れてもらいました。導入時期も早く、私どもの規模のような病院で、電子カルテ導入のノウハウが蓄積されたことは、大きな強みになりました。そして大規模なリハビリクリニックが誕生したことが、治療やリハビリを行う

「つらいリハビリを少しでも前向きに取り組んでもらおうと工夫しました。例えば、来院するときに、日常生活のリズムを取り戻せるようにしています。さらに退院後もしっかりとリハビリが続けられ



1970年(昭和45年)、開業当時の可知外科(豊川市国府町)、初代院長の可知紀明氏と妻で薬剤師の紀子さん(前列左側)



カルテを見る、初代院長の可知紀明氏(中央奥)とスタッフら



優しい眼差しで、患者に寄り添い診療を行う可知裕章院長

「院長の簡単なプロフィールを教えてください。」
可知 私はいまは医師になつたわけではなく、5年間、回りをしています。高学歴を目指して東京・下北沢でバンドマンをしていました。うまくいかず、実家に戻り、落ち込んでいた時に、父は「人のために生きて」と言い、背中を押してくれました。その後、寝食を忘れ血尿が出るほど必死に勉強して、24歳のときに医学部に入学しました。

「今後はアンチエイジングを。」
可知 アンチエイジングです。高齢化社会の中、皆さまがいつまでも若々しく、自分のやりたいことに取り組める体づくりの後押しができれば良いと考えています。

「サテライトクリニックも開設しましたね。可知 地域のクリニックの役割は、とても重要で、2つのクリニックが院長の病気で開院した。断念となり、引き継ぎ決断しました。そして大規模なリハビリクリニックが誕生したことが、治療やリハビリを行う

「最後に。」
可知 皆さまのおかげで創立50周年を迎えることができました。また、無事に50周年を迎えられたのは、未熟な私に、現在各分野で活躍されている先生方のおかげです。これからも地域を医療の分野で支えてまいります。よろしくお祈りいたします。



1976年(昭和51年)当時の可知病院



2003年(平成15年)4月、増築棟として小児科とリハビリテーション室を備え完成した「青いイルカの病院」

「今後のさらなる発展を期待しております。ありがとうございます。」



可知裕章氏 プロフィール

■生年月日 1968年(昭和43年)5月14日、愛知県豊橋市生まれ(52歳)
■出身大学 藤田保健衛生大学 1998年(平成10年)卒
■経歴 1998年(平成10年) 豊橋市民病院 整形外科
2002年(同14年) 愛知県厚生生涯病院 整形外科
2005年(同17年) 可知病院 院長
2015年(同27年) 医療法人鳳紀会可知病院 理事長
■診療科 ・整形外科(専門領域) ・リハビリテーション科
■資格 ・日本リハビリテーション医学会専門医
・日本整形外科学会専門医
・日本リハビリテーション医学会臨床認定医
・日本医師会認定産業医
・臨床研修指導医
・身体障害者指定医(肢体不自由)



2012年(平成24年)リニューアルした可知病院

医療法人鳳紀会可知病院 概要

■運営法人名 医療法人鳳紀会可知病院
■理事長・院長 可知裕章(かち・ひろあき)
■住所 愛知県豊川市国府町桜田15-1
■設立年月日 1945年(昭和45年)2月
■職員数 合計210名 ※令和3年2月現在
医師(常勤)8名、医師(非常勤)26名、薬剤師3名、看護師25名、准看護師10名、ケアワーカー17名、理学療法士41名、作業療法士20名、言語聴覚士6名、音楽療法士2名、診療放射線技師7名、臨床検査技師3名、管理栄養士2名、医療ソーシャルワーカー6名、保育士3名、医療事務20名、薬局助手1名、エルダーパートナー4名、事務6名
■診療科目 リハビリテーション科、整形外科、小児科、内科、外科、精神科、心療内科、形成外科、リウマチ科
■診療設備 回復期リハビリテーション病棟、リハビリテーションセンター、病児・病後児保育室併設、マルチスライスCT、MRI完備
■外部施設 大崎整形外科クリニック 豊川市大崎町下金居場58
豊川脳神経外科クリニック 豊川市四ツ谷町3丁目105